

研究実施のお知らせ

2023年1月6日 ver.1.3

研究課題名

開頭術後の審美面に関する後ろ向き調査

研究の対象となる方

2010年4月以降、島根大学医学部附属病院脳神経外科で開頭手術による治療を受けられた方。

研究の目的・意義

脳神経外科の代表的な外科的処置の一つとして開頭術があります。開頭術の適応は、主に脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、機能性疾患（顔面痙攣、三叉神経痛、てんかん外科等）などが挙げられ、乳児から成人まで幅広い年齢に必要とされる治療法です。しかし、脳神経外科の主な手術部位である頭部は他の部位に比べて手術創部が目立ち、また創部のトラブル（創部感染症、創部癒合不良、創部離開、筋萎縮、脱毛など）が生じれば治ることのない痕が残る可能性があり、患者さんの整容面（見た目）は大きく損なわれる可能性があるため、創部合併症は重大な後遺症と認識する必要があります。これまでもさまざまな工夫が考案されてきましたが解決には至っていません。

島根大学医学部附属病院脳神経外科では、開頭術を受けられる患者は糖尿病のコントロールを徹底し、また最小限の皮膚切開で十分な治療効果が得られるような手術戦略を患者ごとに立案し、全工程において創部に対して愛護的な手術手技を行っています。

本研究では、内科的疾患や生化学検査、手術手技、また開頭範囲や皮膚切開デザインといった手術戦略、術後の管理が手術創部にどのような影響を及ぼしたかということや診療情報から分かる範囲で明らかにすることです。本研究で得られた結果は、開頭術を必要とする患者さんにとって整容面を損なう要因を明らかにし、予防方法を考える上での根拠となることが期待されます。

研究の方法

島根大学医学部附属病院脳神経外科で浅側頭動脈を用いた手術加療を受けたことのある患者さんを対象として、診療記録の情報を利用します。

利用する情報の具体的な項目は、年齢や性別、喫煙歴・飲酒、診断名、基礎疾患、手術・治療方法や周術期管理、画像情報や創部の転帰、創部に対する訴えの有無など

の診療情報です。これらの情報は氏名やID、生年月日などの本人を特定できる情報を削除し、代わりに新しい識別番号をつけます。識別番号と個人情報の対応表は、研究責任者以外にアクセスできないようにパスワードを設定して厳重に管理します。上記のように個人を識別できない状態に変換しますので、患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部にもれることはありません。

既存の情報のみを使用するため、対象者に何らかの負担が生じることはありません。また、他の機関に当該研究によって得られた情報を提供することはありません。

研究の期間

2021年9月13日～2027年3月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部脳神経外科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理者）

島根大学医学部脳神経外科学講座 吉金 努

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、治療終了後から半年後までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者： 島根大学医学部脳神経外科学講座 吉金 努

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2245 FAX 0853-21-8954